

西多摩医師会報

1987年7月1日

175号

発行所・社団法人 西多摩医師会 東京都青梅市西分3-103
編集委員・石井 好明 井村 進一 TEL.(0428)23-2171(代)
栗原 琢磨 小林 杏一
道又 正達 村山 正昭 渡辺 良友

昭和62年度臨時総会開催さる

昭和62年度の臨時総会は、5月23日西多摩医師会館にて開催された。井上富美、堤次男会員を議事録署名人とし、物故会員に黙禱をささげたのち議事に入った。

西村会長

本日は臨時総会に出席いただき有難うございます。62年度の決算審議は前年度の予算に若干の修正を加えて実施したものについてでございます。医療環境の厳しいなかで、限られた予算を有効に行使して活動すべく、担当理事にはお世話になることと存じます。生涯教育についても病院との連携のもとに成果が上りつつあると考えます。本日の決算案について十分なご審議をお願い致します。

審議事項

- (1) 61年度一般会計収支計算につき承認を求め
る件 — 川辺理事
- (2) 61年度特別会計収支計算につき承認を求め
る件 — 川辺理事

西多摩医師会互助会

収支会計 — 川辺理事

西多摩医師政治連盟

年会費納入 — 松原副会長

収支会計 — 大嶽理事

西多摩乳児健康診査医会

決算承認

役員改選 — 鈴木 修会員

TMM西多摩支部

決算承認 — 堤会員

お し ら せ

6月はじめより真夏のような晴天がつづきこの夏は酷暑が予測されます。福祉部では暑気払いをかねて、生ビールとカラオケによる懇親の夕べを催すことになりました。 会費 開業医5,000 勤務医4,000

日時 7月29日(水) 午後7～9時

場所 羽村町コミュニティー・センター

西多摩医師会をどう運営するか

青梅市 近藤 肇

こんな標題をつけたのは、西多摩医師会をすっきりしたものにしたい、いつまでも何かくすぶったような状態から多少でも抜けださせたいとの願いからである。

異った意見や批判や議論は大いにあった方が良いので、それを嫌ってはいけないうる環境が望ましい。文句はどこにだてあるものでそれは構わない。

この頃考えている事を折に触れて会員のひと話してみた中で、私の考えを会員の方にもっと知って貰ってもいい時期に、来たのではないかと言う気がしてきた。

以下、それ等の会話を質問に答える形式でまとめてみた。

※※ 昔みたいに理事はブロックから東5西5南4とか出せば文句は無くなるのでは。

近藤 数の点ではね。

※※ 理事は地区でなく全体の立場で選ぶべきだということになったのはいいが。

近藤 最初はブロックの推薦候補だったね。

※※ ブロック推薦より自由立候補が良いとする意向で選挙になっているわけですね。

※※ だけど、選挙がいつもゴタゴタの原因になるからね。

近藤 ブロック推薦で理事を選べば或る程度平穏かもしれないね。

※※ どうして、医師会がいつもゴタゴタしてるんでしょうかね。

近藤 ゴタゴタみたいなのはあっても良いと思うけど、それが感情的だったり、派閥で動くのは嫌だな。

※※ 怪文書が出ましたね。

近藤 前にもいろいろひどい事があったね。派閥で理事が何名もやめてゴタゴタを起して臨時総会まで開かせた。

※※ 学童のコレステロール採血やヘルス事業が問題になりましたね。

近藤 あれわね、それに対する意見の相違とか政策に対する批判があっても良い問題だったと思う。僕個人で言えば理事会の対応に配慮が足りなかったと言われても仕方ないね。言論の場が互いに感状的になった節があったのは残念だ。

※※ 総会が荒れるのではないかという噂があったが、そうでもなかったですね。

近藤 そうゆう事が言われていたということが僕は嫌なんだね。総会がいつもシャンシャンじゃつまらないと思うので、活発な質問や討論があった方が良く、僕は思うね。

※※ 医師会を昔みたいになごやかにする名案は何か無いですか。

近藤 昔みたいになごやかと言うけど……

※※ こんなゴタゴタは無かったですよ。

近藤 おとなしかったんだね、みんな。

※※ そうじゃないんじゃないですか。先生や、今生きてる人じゃ小泉先生なんか論客だったんでは。

近藤 青年将校だったね。

※※ さらっとしていて、議論は議論でだったんですか。ところで何か名案はありませんか。

近藤 やはり、君の言うように選挙だよ、問題は。

まず、会長の選び方のいくつかの案からいこう。

1. 候補者1名の時は信任投票をする。
2. 3ブロックから1名の候補者を推薦し、選挙する。
3. 3ブロックから1名は会長、2名は副会長の輪番制とする。

※※ 信任投票もいいですね。反対票もこれだけあると言う自覚が生まれるし……

近藤 3ブロックから各1名の候補者を推薦となると派閥の意識も少くなるし、輪番制となれば機械的になるけど各ブロックで選ぶ時に考えるだろう。

※※ 副会長や理事選挙はどうしますか…。
 近藤 副会長は会長以外のブロックから出すようにする。
 理事はブロックとの緊密な連絡という事から言って、ブロック推薦が良いね。選挙にしたかったら、ブロック推薦と選挙の二本立てにする。

※※ なる程、ひとつの案ですね。
 近藤 問題になったヘルス事業だが、青梅が検討の結果センター方式にしたのは、それだけの理由があった。それをだね、西多摩医師会が会として個別方式にする政策を決定してしまった。こういう場合、青梅を代表して出ているとの意識ある理事ならば、青梅のいきさつを理事会で理解して貰えた筈なんだがね。

※※ 会報に青梅が西多摩医師会の方針に従わないかのように書いてありましたね。

近藤 こういう事の起る根源はね、保健事業が市町村単位で行われ西多摩医師会として画一性がなくなっているからである。
 僕はねえ、西多摩医師会の改造として、3ブロックの連合体としたら良いと思う。大体、医師会は自治体単位が望ましい。北多摩でも南多摩でも自治体毎に医師会が別れつつある。連合体にし

て保険請求や事務や研修会など共通の事を連合体でやって、保健事業などは市の医師会または、市町村単位、ブロック単位で自治体と話し合っただけでいい。連合体の性格の医師会は連絡調整などで役割がある。そうすればトラブルの原因はうんと減るね。

※※ 要するに、今のブロック毎でもよし、市町村単位の医師会でもよし、市町村単位の医師会が1ブロックを形成してもよし、医師会の連合体にするという事ですね。

近藤 そう。現状のままの3ブロックで連合体を作れば良い。仮りにこうすればどうなるかだが、今年度比較的大きな問題となった学童のコレステロール採血やヘルス事業のトラブルなど会報での議論は発生し得ない。

※※ 確かにそうですね。面白い案じゃないですか、これは。すぐには出来ないでしょうから、さし当り選挙のやり方からだけでも変えるといいんじゃないんですか。

※※ 選挙のやり方を変えるだけでも随分医師会は良くなると思いますね。

近藤 まあ、3年後の実施でみんな考えて貰いたいね。

お知らせ

8月号は恒例のように鎖夏特別号として、文芸活動の特集をおこないます。会員のみならず、ご家族、従業員の寄稿をお待ちします。

ことに過去1～3年以内に開業の会員には、自己紹介の意味もかねて、随筆、思い出、将来の抱負など自由にお書き下さい。

しめきり 7月末日
 発行 8月中旬

お知らせ

		八月の保険提出日
正	八月八日(土)	
午		
迄		

学術講演会

めまいについて

講演の要旨は次のとおり。

Meniereが1862年に大脳疾患として扱ったもののなかに、それと全く違う経過をとる一群を取上げた論文を発表したことはよく知られていることです。それ以来『めまい』と内耳との関係が生まれ、『Meniereの Symptomen-Komplex』として扱われ、N. Vestibularisの重要性が必然的となり、それを満足する説明がなされてきました。眼振が認められた当時もつとも関心の高い疾患に『しょう神経腫瘍』があり、確かに caloric Test (Barany) をしてみますと反応がないということがわかり、とも角同じ土台の上で論じなければならぬという難かしさがあったわけです。それに小脳の関与する疾患-腫瘍や変

青梅市立総合病院
耳鼻咽喉科部長 村主 好弘先生

性症-といったものでも眼振や視性眼振の変化がみられてきますので、前庭小脳(脊髄)系として纏められ、手や足、身体の Deviation や移動(重心の動揺)が扱われてきたわけです。ところが小脳の急性機能脱落では眼に Deviation が起ります。大脳でもこれがありますので、もつと大きな系が必要になってきたわけです。それに加えて特異な眼振を出す頭位性の『めまい』というものが見つかりました。

それにSM中毒による前庭の脱落症状です。何れにしてもこれらを扱うには従来の系ではうまく纏まりませんので新しく唱えられたのが、Oculomotor System と呼ばれるものです。

ホルター心電図の有用性について

聖マリアンナ医科大学第2内科 三宅 良彦

心電図学は、A. D. Waller (イギリス、1887年)、W. Einthoven (オランダ、1903年) に始まり、臨床・研究面からの要求と医用工学の進歩が相伴って発展してきました。これら先駆者の時体には、心電図記録に際して大掛りな装置と慎重な操作が必要でしたが、現在では、いつ、どこでも手軽に記録できるようになりました。そして、磁気テープやICメモリーによって心電図を記録するホルター心電図が開発され、この「いつ」、「どこでも」に加えて、「長時間連続して」24時間あるいはそれ以上の記録が可能となりました。標準12誘導心電図の記録時間は、心電計の同時に記録可能な誘導数によって異なりますが、通常10秒から1分であり、「24時間」と比較すると僅か1/1440~1/8640にしかありません。ホルター心電図の情報量の多さを物語る1つの数値といえます。

ホルター心電図の記録器は、重さ400~

900グラムで、これを携帯し、医療施設を離れて日常生活中での心電図を連続記録し、後日解析機を用いて自動あるいは半自動解析します。

ホルター心電図の臨床適応は、訴える症状から不整脈や虚血性心疾患の存在が予想され、これを発見、診断しようとする場合と、すでに不整脈疾患や虚血性心疾患が明らかにされていて、この経過観察、治療効果判定をする場合に大別されます。臨床以外では、心拍数の日内変動など生体リズムと心臓との関係や、血圧と不整脈の関係などを調べたり、またスポーツマンのメディカルチェックの1つとしてスポーツ中の心電図記録を行うなど、その応用範囲は拡大されつつあります。

最近では、臨床心電図の1つとして欠くべからざる検査法となったこのホルター心電図の有用性について、概説させていただきます。

青梅市立総合病院各科集会一覧

1987. 6. 1 現在

内科

症例検討会	(月)	午後4時～5時	西5病棟面談室
胸部レントゲン読影会	(火)	午後6時～7時	内科外来控室
消化系レントゲン読影会	(木)	午後6時～6時	同上
心電図読み会	(木)	午後6時～7時	同上
抄読会	(金)	午後5時半～7時	医局講義室

外科

内視鏡フィルム読影会	(火)	午後4時半～6時	内視鏡室
症例検討会(術前例)	(水)	午後5時～6時	西4病棟面談室
外科内科合同カンファランス	(水)	午後6時～(月例)	医局講義室

産婦人科

研究会	(月)	午後3時半～5時	産婦人科外来
産婦人科小児科合同カンファランス	(第3月)(2月に1回)	午後3時半～5時	同上

泌尿器科

レントゲン読影会	(木 or 金)	午後4時～	泌尿科外来
----------	----------	-------	-------

腎センター

抄読会	(水)	午前8時半～9時	医局講義室
-----	-----	----------	-------

各科合同

臨床病理症例検討会	(月)	月例	午後6時半～南棟講堂
-----------	-----	----	------------

文 芸

国際会議も矛盾多し 強きまくる	ギャンブルも競艇の競馬課税あるに 不思議なること	政治資金と称し一夜に集むパーティー会費 二十五億に無税なりとは	恐るべき枯草作戦の戦禍残るに ベトナムの惨禍忘れし如くに	南京の虚構を裁きかず列強も 枯葉作戦今に裁かず	軍備持たぬ国と定めし我が国にあり 強化はかかれとすすむる国あり	落日の夕景ひと時 咲く花幾つと泰山木搜ぐる	庭樹々の繁みにまつわり舞う蝶の 白く浮かみて夕景明るし	立葵 紅の花 咲き出でぬ 昨年 紅の花 今年 紅と	「不思議多き月」 小泉新策
--------------------	-----------------------------	------------------------------------	---------------------------------	----------------------------	------------------------------------	--------------------------	--------------------------------	------------------------------	---------------

一般外来診察分担表 (午前)

昭和 62 年 6 月現在

診療科		月	火	水	木	金	土	備考
内科 内線 { 331 332		坂本	柏木	桜井	坂本	桜井	交代	循環器 呼吸器 リウマチ 膠原病 血液 腎臓 消化器 坂本 室田 桜井 柏木 浦田 栗山 木本 岡田 黒沢
		柏木	岡田	川良	柏木	栗山		
		岡田	室田	木本	岡田	室田		
		栗山	上坂	黒沢	黒沢	浦田		
		佐藤			浦田	梶浦		
放射線科	333	(甲斐原)	甲斐原	(甲斐原)	甲斐原		(甲斐原)	
外科	330	石井	広瀬	山田	宇田	石井	交代 廣瀬 森田 山田 山田	胸部科 宇田 森田
		宇田	山川	海老原	森田	山田		
脳神経外科	329	鬼頭	宮崎	埼玉医大 脳外医局	鬼頭	宮崎	交代	
整形外科	328	渋谷 加藤 千代倉	千代倉	渋谷	渋谷 加藤 千代倉	加藤	渋谷 加藤 千代倉	
		(交代) 千代倉	渋谷		(交代) 千代倉		(交代) 千代倉	
産婦人科	妊婦	高野	内田	松永	富永	住吉	林	交代
	婦人科	内田	富永	内田	高野	高野	交代	
		富永	松永	木田	林	松永		
		木田	住吉	林	木田	林		
326	住吉	柳沢	住吉	住吉	住吉			
皮膚科	355	船曳	船曳	船曳	船曳	斎藤	船曳	
泌尿器科	351	友石	国武	平沢	友石	足立	交代	
小児科	327	林	林	林	於保	林	交代	
		於保	於保	崔	川木	川木		
		川木	奥山	奥山	崔	奥山		
		崔	崔					
眼科	353	矢野	矢野	矢野	矢野	招へ医	矢野	
耳鼻咽喉科	352	宮城	宮城	宮城	宮城	村主	宮城	
神経科	354	杉本	山本	杉本	山本	久保	中野	(交代)
		中野 (新患)	中野 久保 (新患)	山本 (新患)	久保 (新患)	中野 (新患)		
理学診療科	219	鈴木	鈴木	鈴木		鈴木		
口腔外科	350		小沢 林 (交代)		高久		島田	

専門外来分担表 (午後)

青梅市立総合病院

診療科	月	火	水	木	金	担当医師
内科		リウマチ・ 膠原病	リウマチ・ 膠原病			桜井
			心臓			坂本
外科		大腸肛門				広瀬
胸部外科		乳腺				宇田
整形外科	(股関節・形成 脊椎・神経・腰痛 月に1回～2回)					
産婦人科	不妊					林・富永
小児科	内分泌 (第3のみ)	心理	心臓 (第4のみ)		未熟児	
	心臓 (第2のみ)	神経 (第3のみ)	ぜんそく 腎臓			
眼科					未熟児眼底	矢野
耳鼻咽喉科					めまい	村主

◎ 専門外来の診療受付は、担当の外来へ問い合せてください。

外来診察の受付時間 (日曜 祝日は休診)

平日	午前8時30分～午前11時30分
土曜日	午前8時30分～午前11時00分

◎ 昭和62年4月から、消化器科が新設される予定です。

診療報酬明細書返戻状況

3月分

返 戻 理 由		医科(乙表)件数			
		青 梅	福 生	秋 川	西多摩
1	保険者番号、記号○番号、公費負担者番号、市町村番号、受給者番号の不備又は保険者番号と記号の不一致	32	7	6	12
2	旧証の記号○番号	5		3	6
3	患者名、生年又は生年月のもれ				
4	傷病名のもれ	2	1		1
5	診療月分、診療開始日、診療実日数、転帰のもれ				3
6	診察料(初診、再診、往診又は時間外等の表示)のもれ				
7	診療月と診療開始日及び初診料の不一致	3			4
8	診療実日数と診察回数又は処方回数の不一致	2	4		3
9	投薬○注射(薬名、規格単位、用量、回数)の不備	1	1		3
10	処置○手術○検査○X線(薬名、回数、内訳)の不備	6			5
11	入院料の不備		1		1
12	点数欄記入もれ又は点数算出根拠不明		1		3
13	契約外(国保、国鉄、公費等)		1		1
14	症状詳記(診療内容及び方針の説明等付せん参照)		1		1
15	医療機関(薬局)の申し出によるもの		1	1	
16	その他	3		2	
計		54	18	12	43

医師会日誌

医療機関数 157 病院 24
診療所 133

会 員 数 285 A会員 142
B " 143

会議

6月1日 西医政連検討委員会
5日 福祉部会
8日 整備会
16日 総務会
18日 医道審議会
22日 西医政連検討委員会
" 会報委員会
23日 理事会
24日 公衆衛生部会

6月8日 整備会
9日 学術講演会
10日 法律相談
12日 春季交通安全講習会
16日 生保指導
17日 学術研究会
25日 学術講演会
" 生保指導
28日 囲碁会

役員出張

6月5日 都医政連全委員会
18日 都医「環境週間」に基づく指導者講習会
19日 都医会長会
26日 都医広報担当理事連絡会

会員通知

○昭和62年国民生活基礎調査に係る協力依頼
○日大医師会62年度第17回夏季医学講座開催

講演会・その他

くらしの知恵と情報を

ホームバンクの埼玉銀行



埼玉銀行

青梅支店 (TEL 0428-22-1101)

東青梅支店 (TEL 0428-22-2121)

青梅支店
奥多摩特別出張所 (TEL 0428-83-2515)

福生支店 (TEL 0425-51-1021)

村山支店 (TEL 0425-61-1211)

五日市支店 (TEL 0425-95-1311)

河辺支店 (TEL 0428-24-2401)

秋川支店 (TEL 0425-58-2611)

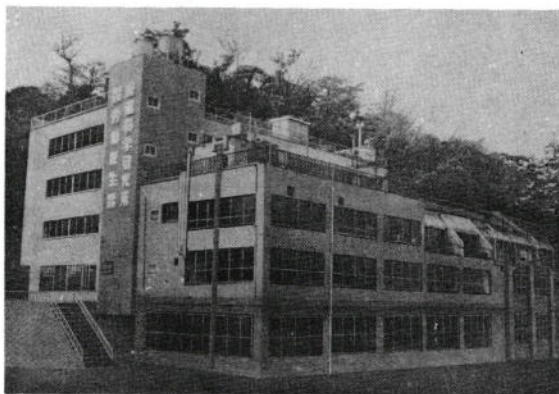
臨床検査センターの雄 保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町106

電話 045 (333) 1661 (大代表)

八王子市子安町3-17

電話 0426 (26) 2203・2204



○総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。

○完全オンラインシステム化を実現致しました。(データ通信システム)

○関係医療機関 約 3,500ヶ所

○広範囲な検査内容

●内分泌学検査 ●免疫学検査 ●ウイルス検査 ●生化学検査 ●血清学検査 ●血液学検査

●病理組織検査 ●細胞診検査 ●重金属検査 ●水質検査

↓都11県の御得意先を毎日定期的に集配致します。御一報を御待ち致しています。